



にこにこスマイル通信

発行/ しゅはら鍼灸整骨院 〒621-0043 京都府亀岡市千代川町小林西芝 92-11

0771-25-8587

ホームページ <http://www.niconico-smile.com>

院長の原です。この度の東北地方太平洋地震により被災された皆様、ご家族、ならびに関係者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。この大地震でたくさんの方が亡くなり、数十万人の方が避難所生活の中にあります。まだ日本中が深い悲しみの中にあります。幸いなことに、私達が暮らす地域では地震による大きな被害はありませんでした。しかし、未だに被災地の親戚・友人・知人と連絡がとれない人もいらっしゃるそうです。無事だった私達全員がこれからやらなければならないことがあります。そうです、これからの「日本の復興」です。まず身近なところで私達にできることは『募金』ではないでしょうか。復旧にかかるお金は莫大な額と聞きます。だからこそ、一人一人ができる範囲で協力し合うこと、それが大きな力になるでしょう。そして『今まで通り日常生活を送ること』これも大切なことです。被災地のことを考えるとまだまだ悲しい気持ちは続きますが、それでも私達は仕事に励み、消費活動をして経済を動かし、日本経済を回復させなければなりません。『経済の回復』実はこれが復興のためにとても大きな力となるのです。また、今回の地震は諸外国でもトップニュースで扱われていますが、目立つのは日本国民を絶賛する声です。『非常時にも関わらず日本人はマナーを守っている』『日本国民は強靱で礼節にあふれている』など。日本は絶対に復興します！日本は海外にもこのように評価されている素晴らしい国です！被災地の方々に一刻も早く笑顔が戻るよう、私達は私達にできることをして協力していこうではありませんか！ 当院でも募金箱を受付に設置しました、募金は、社団法人京都府柔道整復師会を経由し、京都新聞社会福祉事業団を通じて被災地に届けさせていただきます。ご協力お願いいたします。

話のネタで使える ちよつとした 季節の雑学

さくら
桜

いよいよ春本番！春の風物詩と言えばやっぱり“桜”です。そこで今回は「桜にまつわるお話」をいくつかご紹介します。

「春の花」といえば、現代では“桜”が代表的なものとなっていますが、実はこれは平安時代からのことで、それ以前は“梅”が春の代名詞とされていました。実際、奈良時代の歌集「万葉集」では梅にまつわる歌が多く詠まれています。平安時代の歌集「古今和歌集」では桜の歌の方が多く詠まれています。



また、日本で最初に桜を愛でる「お花見」が行なわれたのは、今から1200年前、京都の宮中で嵯峨天皇により行われました。当時のお花見は貴族の優雅な遊びでしたが、江戸時代になると庶民の間でも行なわれるようになり、春の国民的イベントへと拡大していきました。

話は変わりますが…、お客になりすましている人のことを「サクラ」と呼びますが、なぜサクラと呼ぶようになったのかご存知ですか？実はこれは、江戸時代の芝居小屋で役者に声をかける見物人役が、パッと派手なことを言ってパッと消えることから、パッと咲いてパッと散る桜の性質になぞられ「サクラ」と呼ぶようになったのだとか。おそらく当時は今ほど悪いイメージもなく、むしろ好感を持たれてそう呼ばれていたのかもしれないね。

桜は「100円玉」や「警察・自衛隊の紋章」にも使われているように、日本人にとっては欠かすことのできない花です。また、桜の花言葉には「純潔」「精神美」などがあり、パッと開いて潔く幕を閉じるその花の生き様こそ、私たちが桜に想いを寄せる魅力なのかもしれませんね。

